

会議録

係	合議	副主任 GL	係長 主任	副課長	課長

会議名	令和5年度 第1回介護・医療連携推進会議
日時	令和5年10月30日(月) 9:30-10:30
会場	総合福祉エリア第3.4.5会議室
出席者	(敬称略) 小○真○子(市職員) 小○和○(民生委員)、 田○愛○(ひだまり訪問看護リハビリステーション) 坂○雅○、篠○真○、岡○聡○、坂○涉 司会・書記: 坂○涉
1. 開会	あいさつ 総合福祉エリア在宅福祉課 坂○副課長より 令和5年第1回介護・医療連携推進会議への出席への感謝の言葉を述べ、本会議の目的について説明した。 目的: 地域包括ケアシステムの進展・発展を目指し、定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス提供にあたり、意見交換の場として活用することを目的とする。
2. 出席者自己紹介	市役所高齢介護課 松山第一地区民生委員 ひだまり訪問看護リハビリステーション 当事業所職員 市職員 地域住民代表者 医療関係者 在宅福祉課課長 総合福祉エリア管理者 総合福祉エリア副主任 総合福祉エリア計画作成責任者 ・以上出席者7名で本会議を構成し、それぞれ自己紹介を実施した。
3. 利用状況報告	<訪問介護の利用状況について> 在宅福祉課課長より ・「事例一覧表」(別紙参照)の説明がなされ、各事例(8名)の世帯状況、疾病や、支援内容、支援回数などの詳しい利用状況の説明がなされた。 ・「令和5年度上半期 実績表」の報告がなされ、御利用者についての進捗と、実績状況の報告がなされた。

会議名	令和5年度 第1回介護・医療連携推進会議
日時	令和5年10月30日(月) 9:30-10:30
会場	総合福祉エリア第3.4.5会議室
出席者	(敬称略) 小○真○子(市職員) 小○和○(民生委員)、 田○愛○(ひだまり訪問看護リハビリステーション) 坂○雅○、篠○真○、岡○聡○、坂○涉 司会・書記: 坂○涉
4. 意見交換	<p>○質疑応答・要望等</p> <p>*市職員より Q: 利用者数が現在8名となっているが過去と比べて多いのか? A: 過去の最大人数は11名だが、基本的には10名弱を推移している。*他の地域では10名以上になっていることもある。新規利用者の獲得の為、訪問介護と定期巡回・随時対応型訪問介護看護の差別化をしていくことも課題となっている。</p> <p>*訪問看護事業所管理者より ・民生委員の方へこのような会議や定期巡回のことをより知って頂く機会を作ること で、そこからより良いサービスにつながっていくと思う。 ・要介護1.2のご利用者が少ないことについては、やはりケアマネジャーの定期巡回 の良さや理解度がまだ低いことも原因としてある。今後のアプローチも検討していく とよいのではないか。</p> <p>*民生委員より Q: 現在のご利用者は地域にまとまっているか? A: 市内全域で訪問している為、現状どこかの地域のみといったまとまりはない。 ・民生委員でも月何回か見守り支援で訪問している方もいらっしゃる。実際に課題が ある方に関しては市役所や社協にも情報提供をしており、支援につながったケースも ある。また、他の民児協は6つあるが、この会議のことは知らない。今後は声をかけ て参加してもらって知ってもらう機会を作ってほしい。 ・今年度入って関わっている方で無くなった方が5名。その中には独居の方もいた。 このような情報も事業所や市と共有していくことが大切だと思うがどこまで情報提 供ができるかも今後の課題となると思う。</p> <p>貴重なご意見をたくさん頂き、今後に生かせるように今後も努力していく旨確認した。</p>
5. 次回会議日について	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は令和6年2月に予定する。 ・日程については、後日相談連絡をすることとなった。
6. 閉会	<ul style="list-style-type: none"> ・改めて、次回開催予定と出席協力の依頼をさせて頂き、閉会となる。